

丹波縄文の森塾 活動報告



令和7年3月15日（土） 曇／小雨

里山歩き



縄文の森塾最終日。きょうの体験は、里山歩き、広葉樹の植樹、シューベルト花壇の植栽。そして閉塾式をおこないました。

里山歩きでは、テーダマツ、ハウノキ、マダケ、ハチクなどについての話を聞きながら展望台まで登りました。途中には大きなシダ植物も生えていました。

展望台から見下ろすと、丹波の森公苑の建物や柏原の町が見え、がんばって登ってきてよかったと思いました。

展望台



下山した後に、広葉樹を班ごとに植えました。植樹は2回目になるので、協力しながら手際よく植えたり水やりをしました。植樹の後、シイタケが生えていたので、みんなで採りに行き、分け合いました。



昼食は、お赤飯とワカメと卵のスープ。縄文の森塾の田んぼで育てたモチ米が3kgほど残っていたので、赤飯用に使ってもらいました。里山歩きと植樹の作業で疲れていましたがおいしい赤飯とスープで体力が回復しました。



ゼラニウム植栽



午後はシューベルト花壇にゼラニウムを植えました。雨が降り始めたので、作業は軒下でおこないました。サポーターに準備してもらった竹のプランター5本にゼラニウムを植え、シューベルト花壇まで運び入れました。この花壇は、2014年にオーストリアのウィーン市と友好親善提携を記念して作られたものです。



シューベルト花壇



閉塾式では、スライドショーを見ながら、この1年間を振り返り塾生の感想とサポーターの一言がありました。塾生に修了証と活動記録が渡され、閉塾しました。塾生がこの経験を生かして、これからも自然を愛し、丹波の森のために活躍してくれることを願っています。

